

箕面大滝 Wedding ができるまで

50周年にふさわしいイベントにするため、そして何よりふたりの門出のために奮闘した“チーム・箕面大滝 Wedding”。

あっという間の6カ月をダイジェストで紹介！



雄平さん・ゆかりさんらしい結婚式とは？ チーム全体で話し合いを重ねる



会場となる大滝周辺を下見する田村さんからプロジェクトスタッフ



招待状と一緒に贈られた藍染めのハンカチ。滝の水の美しさをイメージして手染めした



披露宴の料理に使う野菜は「箕面市シルバー人材センター」の農園で穫れたもの



ゲストの席札にあしらわれたのは箕面名物「もみじの天ぷら」。新郎新婦が自ら揚げた



巻頭特集

箕面大滝

ウエディング

この思いを幾久しく

明治の森箕面国定公園
50周年記念イベント

『明治の森箕面国定公園』の中にある『箕面大滝』は、はるか昔から季節によって景色を変え、また訪れた人の心のよりどころとなってきた。この度5月に行われた結婚式と金婚式の模様を紹介する。

『箕面大滝』で夫婦のこれまでとこれからを祝う

5月12日(土)、箕面大滝前で結婚式と金婚式が行われた。『箕面市観光協会』と『箕面商工会議所』が主催したこのイベントは、『明治の森箕面国定公園』(以下、『箕面公園』)が国定公園に指定されてから50周年を記念したものだ。『箕面公園』と同じく結婚生活50年を迎える金婚式の夫婦3組と、新たな門出に踏み出す入籍前後のカップル1組の募集が始まったのは昨年9月。『箕面公園』や『箕面大滝』にエピソードをもつカップルを対象とした。『箕面公園』に含まれる大滝前を使用するには許可が必要で、イベントの開催は通常難しい。予想以上の

反響で、結婚式には36組もの応募が集まった。

『どのカップルにも素晴らしいエピソードがあり、1組に絞るのは本当に大変でした』と話したのはプロジェクトチームの一員である『明治の森箕面音羽山荘』の田村さん。審査を経てその座を射止めたのが、現在は滋賀県に住む中越雄平さん・ゆかりさんだ。

大学のサークル活動で知り合ったふたり。ゆかりさんが卒業後の進路に悩んでいた頃、何かと声をかけてくれたのが雄平さんだった。交際のきっかけは、壮大なものに触れて気分を一新しようとふたりで『箕面大滝』を訪れたことだそう。ゆかりさんの両親も学生時代を箕面で過ごし、幼少期には家族で



金婚式に選ばれたのは奥田一夫さん・香代子さん夫妻、竹中啓文さん・敬子さん夫妻、神田福二郎さん・英子さん夫妻の3組。結婚式にも参列し、結婚生活の大先輩として新郎新婦を見守った

のシャワーが降り注いだ。お店や近隣から大勢の人たちが滝道に駆けつけ、新郎新婦を出迎えたのだ。「事前に滝道周辺のお店のみなさんに企画をお話したところ、嬉しいことに私たちが祝ってあげたい」と積極的に参加してくださいました」と田村さん。道は色とりどりの折り鶴と祝福の言葉にあふれた。

滝は人をつなぐ場所。インタビューの中でゆかりさんは次のように話した。「癒やしになったり、ハイキングの目的地になったり、ロマンチックになったり。『箕面大滝』は色んな表情を見せる場所だと思えます。素敵な場所であることが、受け継がれていけばいいなという思いでいっぱいなんです」。



花嫁衣裳は『音羽山荘』オリジナルの白無垢。箕面を象徴するもみじの刺繍がほどこされていた

13時30分から行われた花嫁行列では場所を阪急「箕面駅」前に移し、披露宴会場となる『音羽山荘』に向けて出発。すると、歩を進めるふたりに折り鶴

多くの人と箕面の自然から祝福を浴びたふたり

そして迎えた当日。空は雲ひとつなく晴れ上がり、滝の涼し気な水しぶぎとまぶしい新緑の中での挙式となった。広場のベンチには正装の参列者たち。通りかかったハイキング客は、この日限定の華やかな式場に

◆プロジェクトチーム◆

箕面市地域創造部 箕面営業室(企画運営) / 箕面FMまちそたて株式会社(企画運営) / 明治の森箕面 音羽山荘(企画運営・ウェディングプロデュース) / THE EARTH PRODUCTION(写真・映像・グラフィック) / タカミプライダル大阪(衣裳) / 有限会社リレーションサービス(美容着付) / Ree Crescend Inc.(司会) / 有限会社クラブセレモニー(音響) / UNI(装花) / 久田元太写真研究所(記録写真)



主催 箕面市観光協会・箕面商工会議所